

文芸 小ふたね

俳句

【桜川市岩瀬「秋」俳句会】

滝の如枝垂れ桜の花万朶 小林 啓治

人生に運不運あり桜散る 荻原 勲彦

花辛夷老後にこそのみだしなみ 三代 みちよ

花曇り八十路すぎゆく足速に 入山 ひろ子

百千鳥介護の母の朝が来て 細谷 充女

姉の墓師の墓隣る金盞花 若色 寿美女

カーブミラーに色濃く映るボケの花 金田 とう女

見送りに合掌の手に余寒かな 斎藤 みよ

ふらふらやグラウンドの風攪拌す 渡辺 千恵子

芋播きぬ畝の歩巾は母ゆづり 萩原 きしの

【茂山俳句会】

大いなる空の余白よ鳥帰る 鈴木 ノブ子

宇無限地凶なき国へ鳥帰る 今井 繁子

俵屋の水鈴とろり春うごく (金沢)

海老沢 静夫

鉤の手の棹となりつゝ雁帰る 宮本 芳江

春耕や土の斑なす午前午後 海老沢 幸子

廃校の尊徳像に桜散る 金子 弘毅

目にやさし風に綾なす糸柳 田崎 信子

鳥帰る円空仏の粗削り 君島 真理子

行く先を誰に告げしか鳥帰る 笠倉 陽子

春風の川面は光の粒走る 植田 祥雲

学び舎のがらんどうなり鳥帰る 鈴木 つぎ

春の雨木々に目覚めを促せり 竹林 てる

被災地の枝折れたまま芽吹きをり 泉 健作

尊徳の造りし堰とや桜舞ふ 宮本 立男

鳥帰る何処を祖国と思ふらむ 吉原 京子

しんがりの棹たてなほし鳥帰る 吉原 秀子

春菜まく耕す鋤の重さかな 皆川 一女

春耕の土柔らかく暖かく 大関 くに

鳥帰る下校の子等に見送られ 松崎 いま

わが山河微動もせずに獺期果つ 飯山 昭

【岩瀬短歌会】

病む窓にほんのり浮きて白き雲ながれもあらず刻かれてゆく 大関 にち子

ぜんまいのネジがどこかにあるらしい段差で止まるよ一歳の孫 浜野和 操

諍いて蹴りし小石のその先に大き穴ありホーリンワン 渡辺 しな子

霊水は鏡のごとし山桜の花びら映す御手洗の池 泉 三郎

ひとり酌む晩げの酒がたのしみと夕日担ぎて寡男の帰る 小林 美瑛子

喜びも悲しみも知る更地有り月冴えわたり無情を照らす 榎戸 正江

あかぎれの手にて夜なべに縄をなう母の面たつ今宵の寒さ 大久保 富美江

俚謡

【そくら俚謡会】

光り流れる飛行機雲が消えて山裾泳ぐ鯉 岩瀬 絵都女

緑彩る小さな泉オタマジヤクシが群れ遊ぶ つく志 輝美

風も温んで誘われ出れば暈をかぶつた月が待つ 一木 みどり

外は雨ねと女がぼつり糸くず払って寝に入る いなばない

田植え終って青田の風がお礼参りに逢いに來る 田 哲人

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
 - 掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
- ※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

桜川市内 週刊誌・月刊誌

配達いたします

飲食店、美容室、理容室、歯科院、病院など、お客様の待ち時間に読む本などがあがてしょう。定期購読も承っております。お気軽にお電話ください。

ムラカミ書店

桜川市真壁町真壁198 TEL0296-55-3160